

# 旧北上川河口部かわまちづくり 整備の考え方

## 基本方針

古くから川湊として発展してきた経緯、優れた石の生産地であること等の地域の歴史や文化等を踏まえた景観を形成する

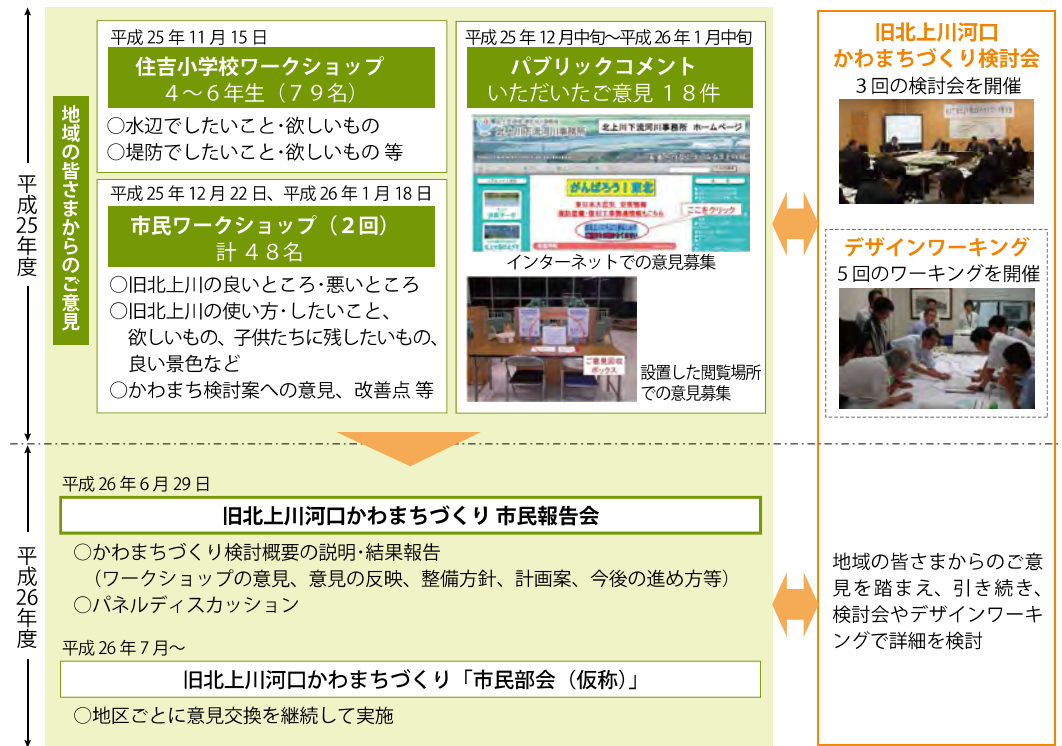


## ●● 堤防や水辺のデザイン・設計の方針 ●●

川湊の風景づくりの精神を受け継ぎ、まちの基盤となる原地形や原風景と調和した自然なデザイン（アースデザイン）として取り組む

- 【全体について】
- 原則1：堤防を地形の一部として捉える
  - 原則2：構造物のサイズは常にできるだけ小さくなるように努力する
  - 原則3：水辺環境・水辺利用に対する配慮を行う
- 【拠点部について】
- 原則1：まちの成り立ち、今後のまちづくりを踏まえる
  - 原則2：利用形態を踏まえる
  - 原則3：拠点部にふさわしい質の高いデザイン

## ●● これまでの検討の流れと今後の予定 ●●



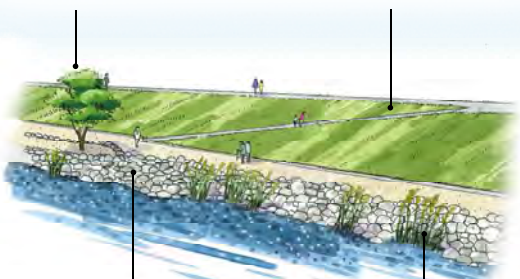
## 整備の基本的な考え方

- 過去の地形や河道等に配慮しながら、雄大でおおらかな河岸を形成する
- 旧北上川河口部における歴史や文化を尊重し、それらが想起できる空間を形成する
- 日常の散策や憩いの場として、ヒューマンスケールにあった居心地の良い空間づくりを行う
- 拠点部は、全体のアクセントとして、また、まちとのつながり・利用形態を重視して、場所に即した丁寧な質の高い空間づくりを行う

※拠点部の整備の考え方は別紙に示します。

### 樹木（植栽）

坂路・階段の設置部や休憩箇所などに、植栽スペースを設けます。



### 石を用いた水際部の整備

石を配置して、自然的な水際を創出します。

### アクセス（坂路や階段）

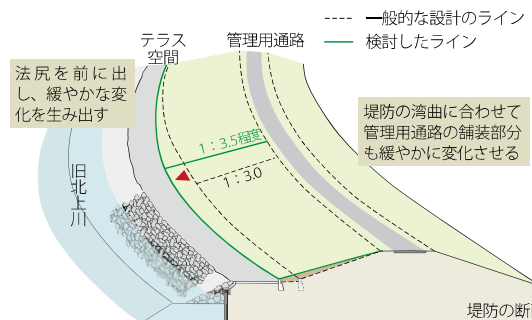
水辺空間の利用を考え、地域の意見をお聴きしながら、適切な間隔で設置します。

### 自然再生（植生）

テラス幅の広い箇所等を活用し、ヨシ原や人工干潟等を形成します。

### のびやかで変化のある堤防景観の創出

人為的でいびつな折れ曲がりなどが生じないように、全体を通して滑らかな曲線を含んだ形状にし、心地の良い空間の形成に配慮します。



### 石積み護岸の保全・復元

従来の風景を保全・再生するため、構造上可能な箇所については、石積み護岸の保全・復元を行います。



### 親水階段・かわど

水辺に下りるための場として、アクセス性や快適性等を考慮し、水際に広いスペースを有する箇所や坂路・階段等に近い場所に設置します。





# 拠点地区の考え方



**南浜地区**

- ・ 祈念公園やマリーナ整備等の計画を踏まえ、河川空間との関係に配慮します。

**中央地区**

- ・ 中央地区の再開発を踏まえ、にぎわいの拠点となる空間利用に配慮します。
- ・ イベント利用や観覧に対応するテラスや法面等のデザインとします。
- ・ 小型船舶等が接岸できる場を設置します。

**大島神社(住吉神社)前**

- ・ 神社、雄島等を考慮した空間づくりをします。
- ・ 「袖の渡し」の歴史的な特徴を踏まえ、対岸との関係に配慮します。
- ・ イベント利用や観覧に対応するテラスや法面等のデザインとします。
- ・ 歴史や文化を伝える石積み護岸やかわどの継承に配慮します。

**住吉小学校前**

- ・ 水辺の観察や環境学習などができる場所にします。
- ・ のんびり休憩や花火の観覧、花見などができる場所にします。
- ・ 遊び、虫取り、運動など、多目的に使える広い空間をつくれます。

**湊地区**

- ・ 小型船舶等が接岸できる場を設置します。
- ・ イベント利用や観覧に対応できるテラスや法面等のデザインとします。
- ・ 堤防背後の盛土空間等の利用に配慮します。

**藤巻・井内地区**

- ・ 歴史性のある、石積み護岸の風景の保全に配慮します。
- ・ 現存する“かわど”の復元等、川の利用に配慮した空間づくりを行います。



# 中央地区のデザイン検討案

## ●● ワークショップやパブリックコメント等でいただいた地域の方々の意見 ●●

### 利用方法などに対するご意見

- 交流人口（訪れる人）が増えるような整備が望ましい
- 堤防と背後のまち並みをフラットにして欲しい
- 堤防から背後地への利用がしやすいようにして欲しい
- イベント等ができる空間にして欲しい
- 川開き祭等のイベントの際の安全性に配慮して欲しい
- 川から堤防の間は広い方が良い 等

### 中央地区に欲しいもの

- 花火観賞場所
- 水辺に行きやすいアプローチ
- 駐車場
- カヌー乗り場、スロープ
- 震災啓発施設の設置 等

## ●● 意見等を踏まえた整備の考え方 ●●

川湊石巻の賑わいの拠点としてのまちづくり堤内地側の整備と一体となり、賑わいの場づくりを補完する、水辺ならではの魅力の場の整備

- 川湊としての実用空間であることを踏まえ、過度な装飾は避けられた機能的な空間づくりを基本にします。
- イベント時も含め多目的に使われる空間となる、居心地の良い空間づくりを目指します。

### 対応案（デザイン案）

- 対応①：まちづくりの拠点として、人々の集い・憩い・交流に配慮した空間を形成します。
- 対応②：川湊のイメージを形成するとともに、腰掛けて休憩できるように、法面の勾配を緩やかにしたり、法尻部を石積みになります。
- 対応③：まち側の整備に対応する形で、川側へとつなぐアクセス（階段や坂路）を設置します。
- 対応④：にぎわいと交流による人々の往来を考慮し、舗装等にも配慮し、質の高い空間を形成します。
- 対応⑤：小型船等の接岸にも対応する一段下がった、または、階段状のテラス空間を設けます。

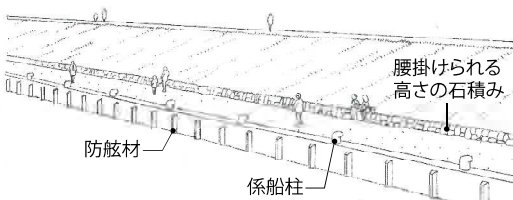
## ●● 整備のイメージ ●●





# 門脇・中央、湊町・八幡町周辺の整備イメージ

## ■門脇・中央地区の水際のイメージ



震災以前にあった機能を確認します。  
(水際部の仕上げは、コンクリートになります。)

■全体を通して心地の良い空間の形成に配慮した堤防形状にしています。

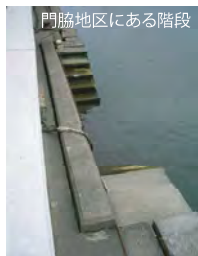
人為的でいびつな折れ曲がりなどが生じないように、全体を通して滑らかな曲線を含んだ形状にしています。

※堤防上の赤い線の部分が、上記の工夫を行った箇所です。

植栽スペース等  
としても活用可

親水階段  
(かわど)

## ■親水階段(かわど)のイメージ



水辺に下りるための場として、まち側との関係や水面利用が想定される箇所などに、設置します。

※表面に示した範囲

石巻港線

小型船に対応する  
一段下がったテラスや階段

腰掛けられる  
高さの石積み

観覧スペースになる  
緩やかな斜面

中瀬

石ノ森萬画館

イベント等の舞台・観覧の場  
となるデッキ空間

腰掛けられる  
高さの石積み

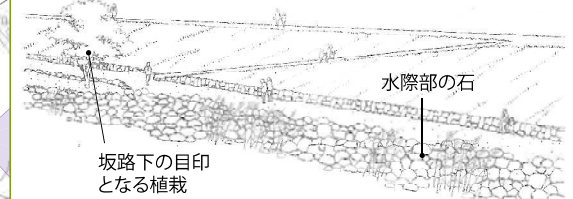
坂路下の目印  
となる植栽

観覧スペースになる  
緩やかな斜面

水際部の石

親水階段  
(かわど)

## ■湊町・八幡町の水際のイメージ



水際部は、石などで微妙に変化する自然的な景観を創出します。また、坂路の下などには、ポイントとなる植栽などを行います。

※具体の整備にあたっては、関係機関等との調整が必要な箇所があります。



# 大島神社(住吉神社)前のデザイン検討案

## ●● ワークショップやパブリックコメント等でいただいた地域の方々の意見 ●●

### 利用方法などに対するご意見

- 石積み護岸など、昔ながらの風景を尊重した整備をして欲しい
- バリアフリーや高齢者等の安全性に配慮して欲しい
- 水とふれあえる空間づくりへの配慮をして欲しい
- 「かわど」や「袖の渡し」等の、地域の歴史文化を尊重した整備をして欲しい
- どんと祭り等のイベントができる空間にして欲しい等

### 神社前に欲しいもの

- 花火観賞場所
- 船着き場
- 駐車場
- ボート・カヌー乗り場
- 住吉公園の整備
- 水とふれあえる場所
- かわど 等

## ●● 意見等を踏まえた整備の考え方 ●●

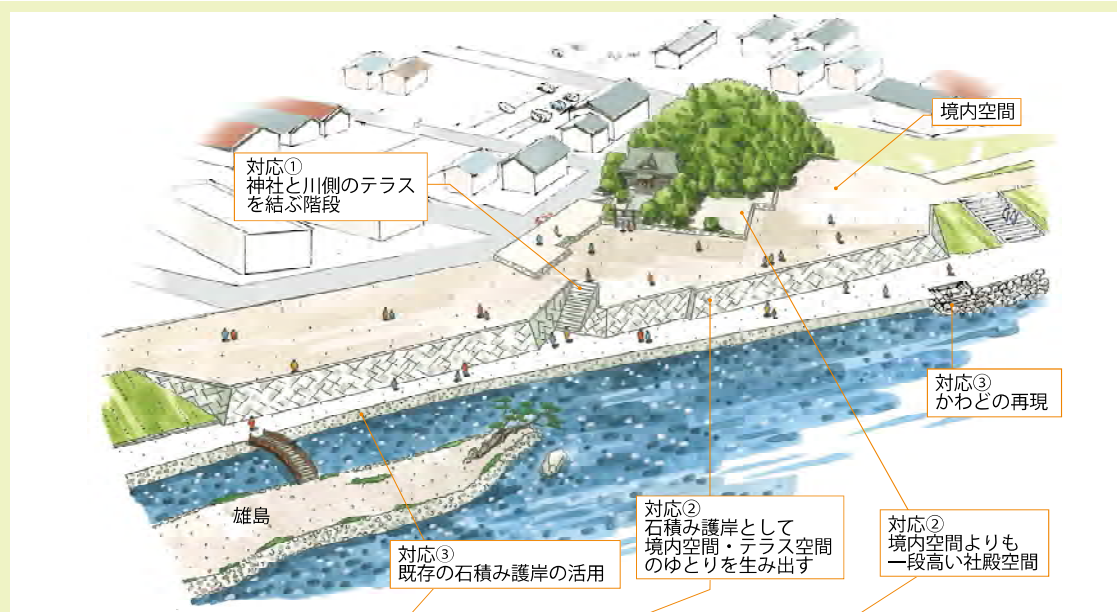
神社、雄島・太鼓橋等との関係を十分考慮した、川側に開けた神社・公園空間の創出

- 神社前にふさわしい格の高い丁寧な空間づくりを行います。
- 神社、雄島・太鼓橋等、各々の神社・公園施設の位置関係等に十分配慮します。
- 「袖の渡し」の対岸である八幡地区との「見る一見られる」関係にも配慮します。

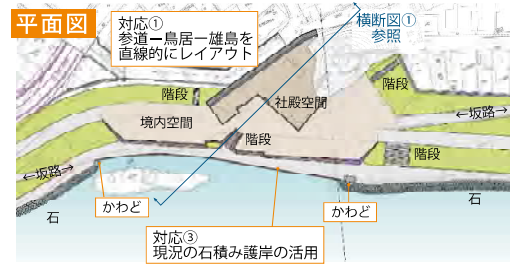
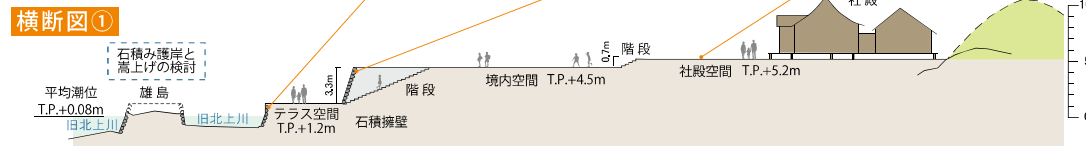
### 対応案(デザイン案)

- 対応①: 参道 - 鳥居 - 雄島を直線的に配置した空間レイアウトとします。
- 対応②: 石積み護岸とすることで、ゆとりのある境内空間、テラス空間をつくります。
- 対応③: 構造上可能な箇所では、既存の石積み護岸を活用することや、かわどを再現することで、昔を偲ばせる堤防空間づくりを行ないます。
- 対応④: 「袖の渡し」の対岸となる八幡地区については、渡し場のイメージを演出するため、階段状のデッキ空間を設置し、カヌーや灯籠流し等の水面利用が行なえる場とします。

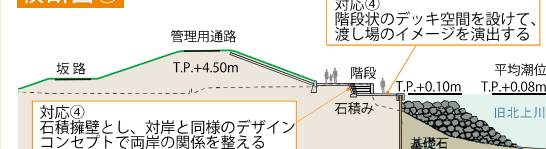
## ●● 整備のイメージ ●●



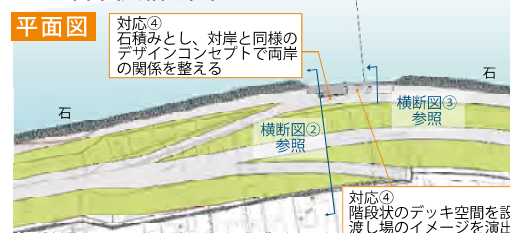
### ■ 右岸側(神社前)のイメージ



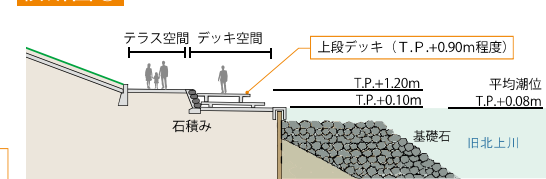
### ■ 横断面図②



### ■ 左岸側(八幡地区)のイメージ



### ■ 横断面図③



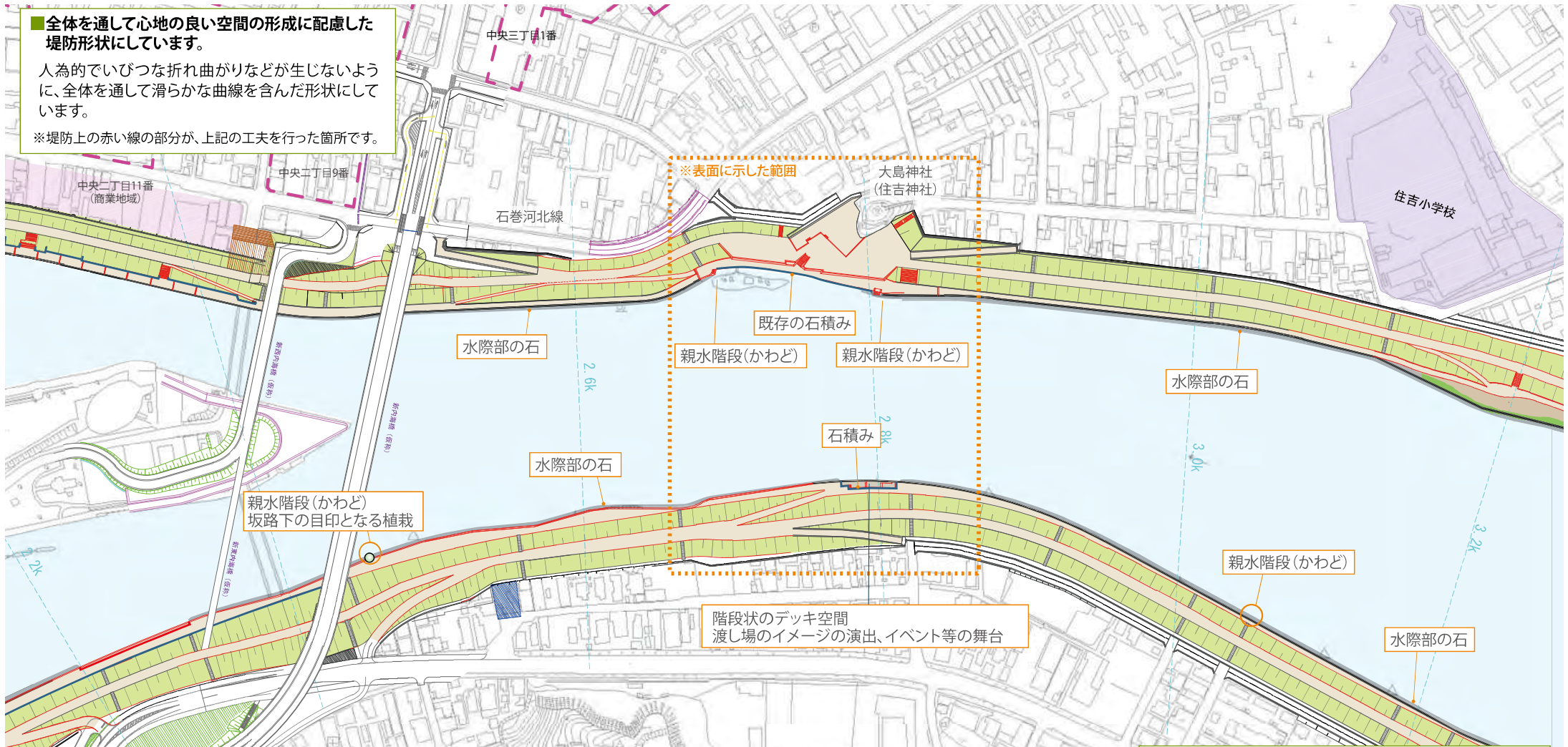


# 中央・住吉、八幡町・不動町周辺の整備イメージ

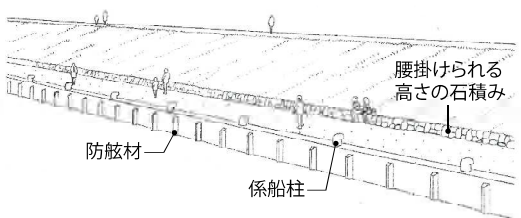
■全体を通して心地の良い空間の形成に配慮した堤防形状にしています。

人為的でいびつな折れ曲がりなどが生じないように、全体を通して滑らかな曲線を含んだ形状にしています。

※堤防上の赤い線の部分が、上記の工夫を行った箇所です。



## ■中央地区の水際のイメージ



震災以前にあった機能を確保します。  
(水際部の仕上げは、コンクリートになります。)

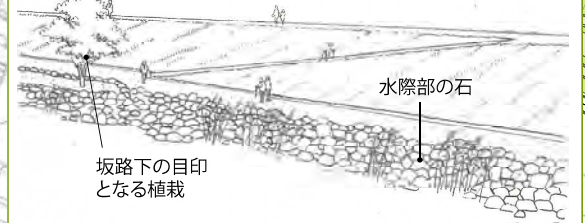
## ■親水階段 (かわど) のイメージ



往時のかわどの様子 出典「ひたかみ、2006年8月」

水辺に下りるための場として、まち側との関係や水面利用が想定される箇所などに、設置します。

## ■八幡町・不動町の水際のイメージ



水際部は、石などで微妙に変化する自然的な景観を創出します。また、坂路の下などには、ポイントとなる植栽を行います。

※具体の整備にあたっては、関係機関等との調整が必要な箇所があります。



# 住吉小学校前のデザイン検討案

## ワークショップでいただいた住吉小学校の児童の方々の意見

### 水辺でしてみたいこと

- 魚やザリガニ取りをしたい
- 釣りをしたい
- 虫取りをしたい
- 花火をしたい、花火を見たい 等

### 水辺に欲しいもの

- 遊び場がほしい
- 生き物にふれられる場所
- 休憩所がほしい
- 花火を見る席が欲しい 等

### 堤防でしてみたいこと

- ソリ遊び、段ボールすべりがしたい
- サイクリングがしたい
- 花や木を植えたい
- くつろぎたい 等

### 堤防に欲しいもの

- サイクリングロードがほしい
- 花火を見る席が欲しい
- 休憩所がほしい
- 花壇が欲しい 等

## 意見等を踏まえた整備の考え方

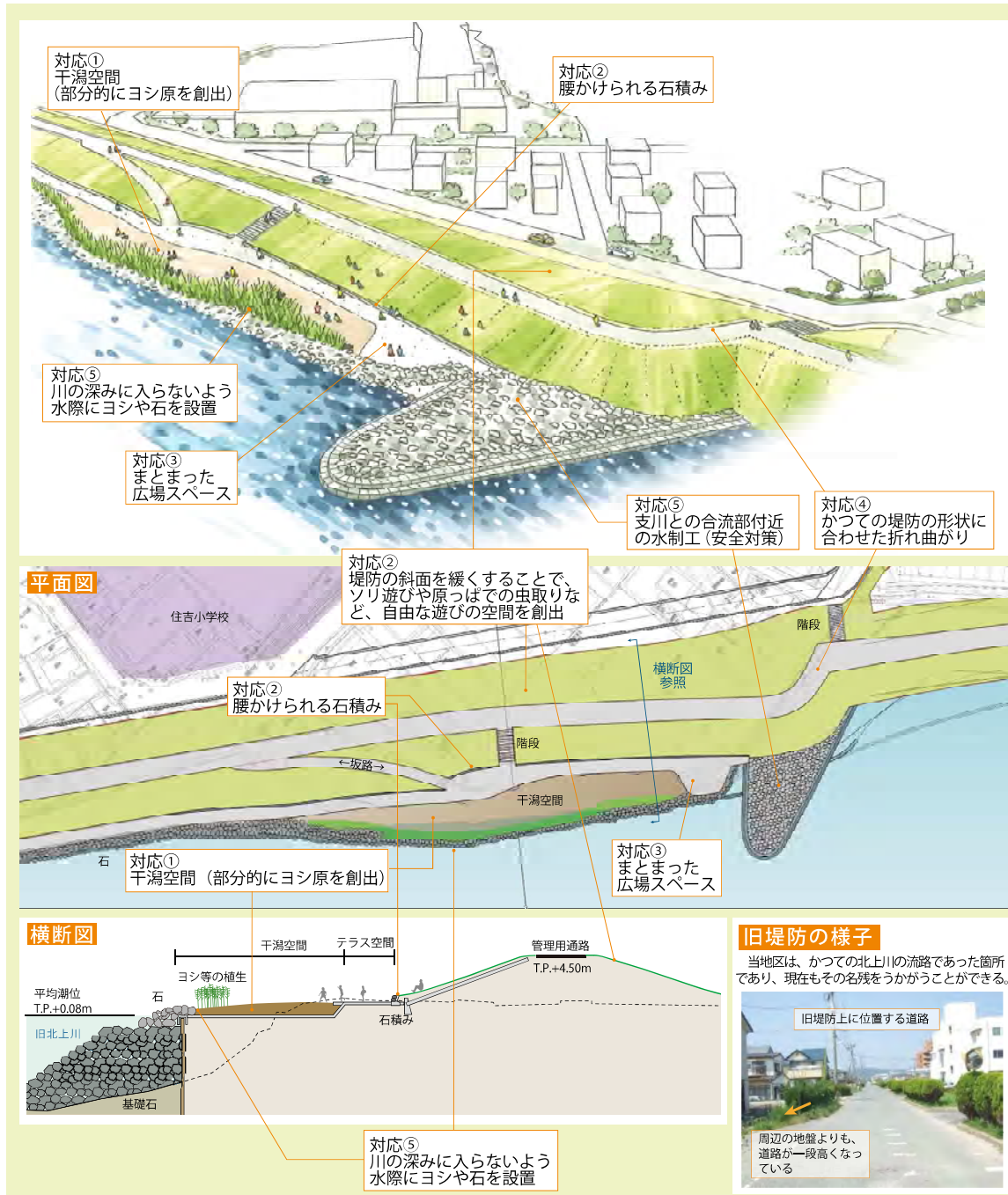
河道の変遷の姿を留める場として位置づけるとともに  
子供たちが自然環境に触れ合え、学び・遊べる場

- 住吉小学校児童を対象としたワークショップでの意見を生かし、学びの場・遊びの場としての堤防空間を創出します。
- かつての堤防の名残を想起させるような堤防の形状とします。

### 対応案（デザイン案）

- 対応①：一部の区間に新たに干潟をつくり、水辺の原っぱ遊びなど多様な活動が行えるようにします。
- 対応②：堤防の斜面を緩くすることで、斜面でのソリ遊びや原っぱでの虫取りなど、自由な遊びが出来る空間づくりを行ないます。
- 対応③：テラス部分には、小学生が集まって学習等ができるよう、まとまった広場スペースを確保します。
- 対応④：かつての堤防の形状に合わせて堤防が折れ曲がる部分を設け、河道の変遷を想起させるような形状にします。
- 対応⑤：安全対策として、支川との合流部付近に水制工を設けます。また、干潟空間の水際に石を積むなどして、川の深みに入らないようにします。

## 整備のイメージ





# 住吉、八幡町・不動町周辺の整備イメージ

■全体を通して心地の良い空間の形成に配慮した堤防形状にしています。

人為的でいびつな折れ曲がりなどが生じないように、全体を通して滑らかな曲線を含んだ形状にしています。

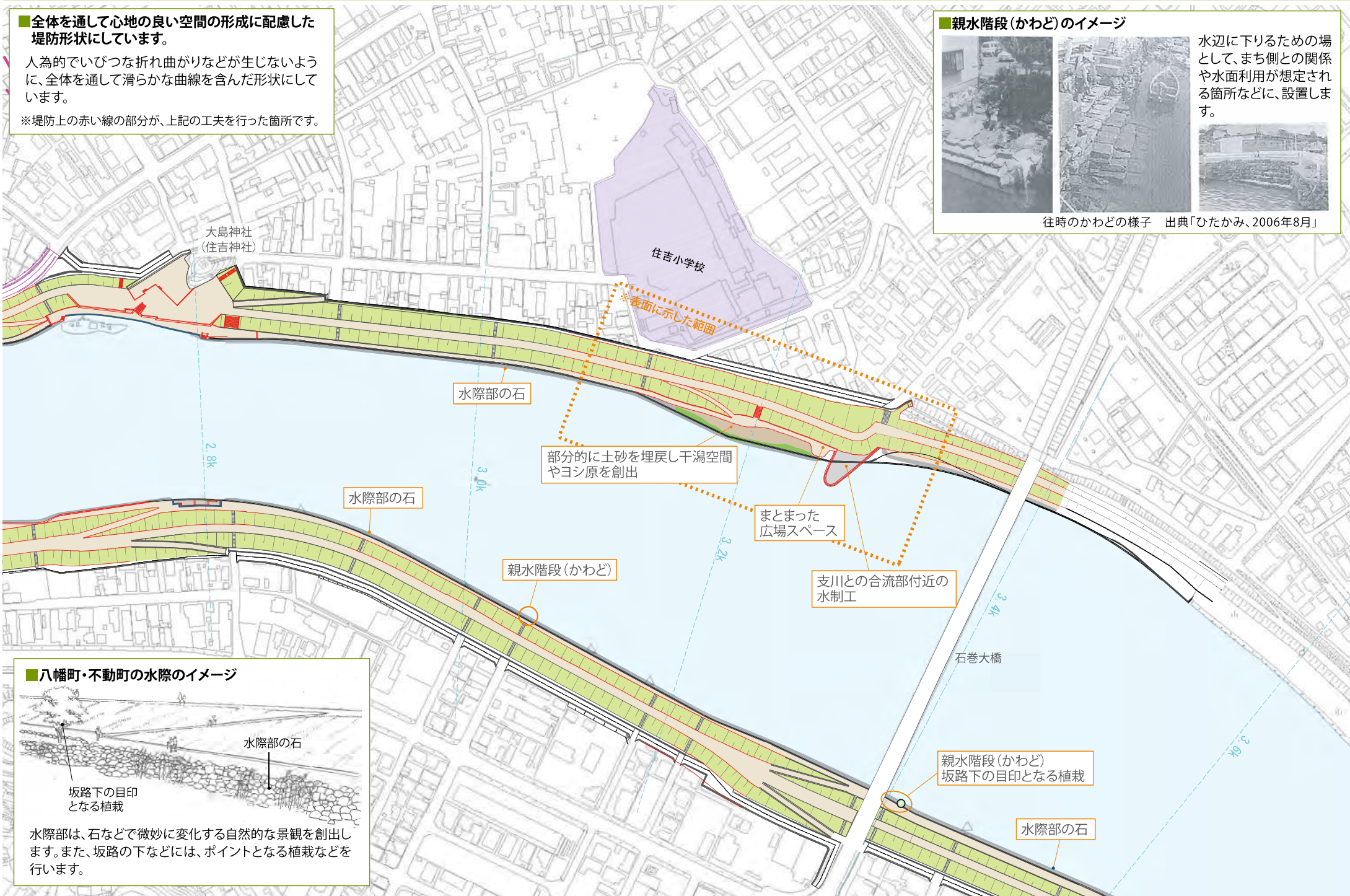
※堤防上の赤い線の部分が、上記の工夫を行った箇所です。

■親水階段(かわど)のイメージ

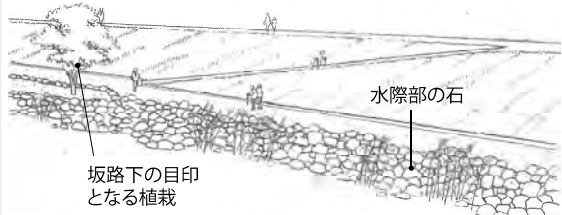


往時のかわどの様子 出典「ひたかみ、2006年8月」

水辺に下りるための場として、まち側との関係や水面利用が想定される箇所などに、設置します。



■八幡町・不動町の水際のイメージ



水際は、石などで微妙に変化する自然的な景観を創出します。また、坂路の下などには、ポイントとなる植栽などを行います。



# 湊地区のデザイン検討案

## ワークショップやパブリックコメント等でいただいた地域の方々の意見

### 利用方法などに対するご意見

- くつろげる空間にして欲しい
- 四季折々に楽しめる、憩いの空間づくりをして欲しい
- 休憩や花火の観覧が出来る場所にして欲しい
- 川を見ながら散歩できる空間にして欲しい
- ヨシ原の復活、魚やカニが集まる場所等、自然再生に配慮した整備をして欲しい

### 湊地区に欲しいもの

- 花火観覧場所
- 親水空間
- カヌー等がつけられる場所
- 川へ降りる階段
- 自然とふれあえるような場所
- 堤防天端の並木



## 意見等を踏まえた整備の考え方

### 都市内の身近なオアシスとしての整備

- 生活空間や産業活動に隣接するエリアであることから、市民の散歩や憩いの場を目指します。
- 日和山や中瀬、河道の合流部を眺めたり、川開き祭等の観覧等ができる場とします。
- 堤防上に並木をつくるなど、地域の新たな名所となるような整備を行います。



### 対応案（デザイン案）

- 対応①：テラス幅を広く確保できる箇所では、ヨシ原等の自然に触れながら散歩できるテラス空間をつくります。
- 対応②：日和山や中瀬を印象的に眺めることができる箇所には、展望スペース（親水スペース）を設置します。
- 対応③：堤防背後の盛土や並木づくりにより、憩いの場としてくつろげる空間づくりを行います（詳細は検討中）。

## 整備のイメージ





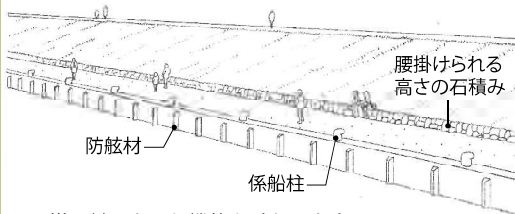
# 門脇、川口・湊町周辺の整備イメージ

## ■全体を通して心地の良い空間の形成に配慮した堤防形状にしています。

人為的でいびつな折れ曲がりなどが生じないように、全体を通して滑らかな曲線を含んだ形状にしています。

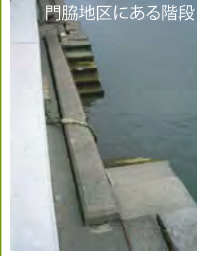
※堤防上の赤い線の部分が、上記の工夫を行った箇所です。

## ■門脇・中央地区の水際のイメージ



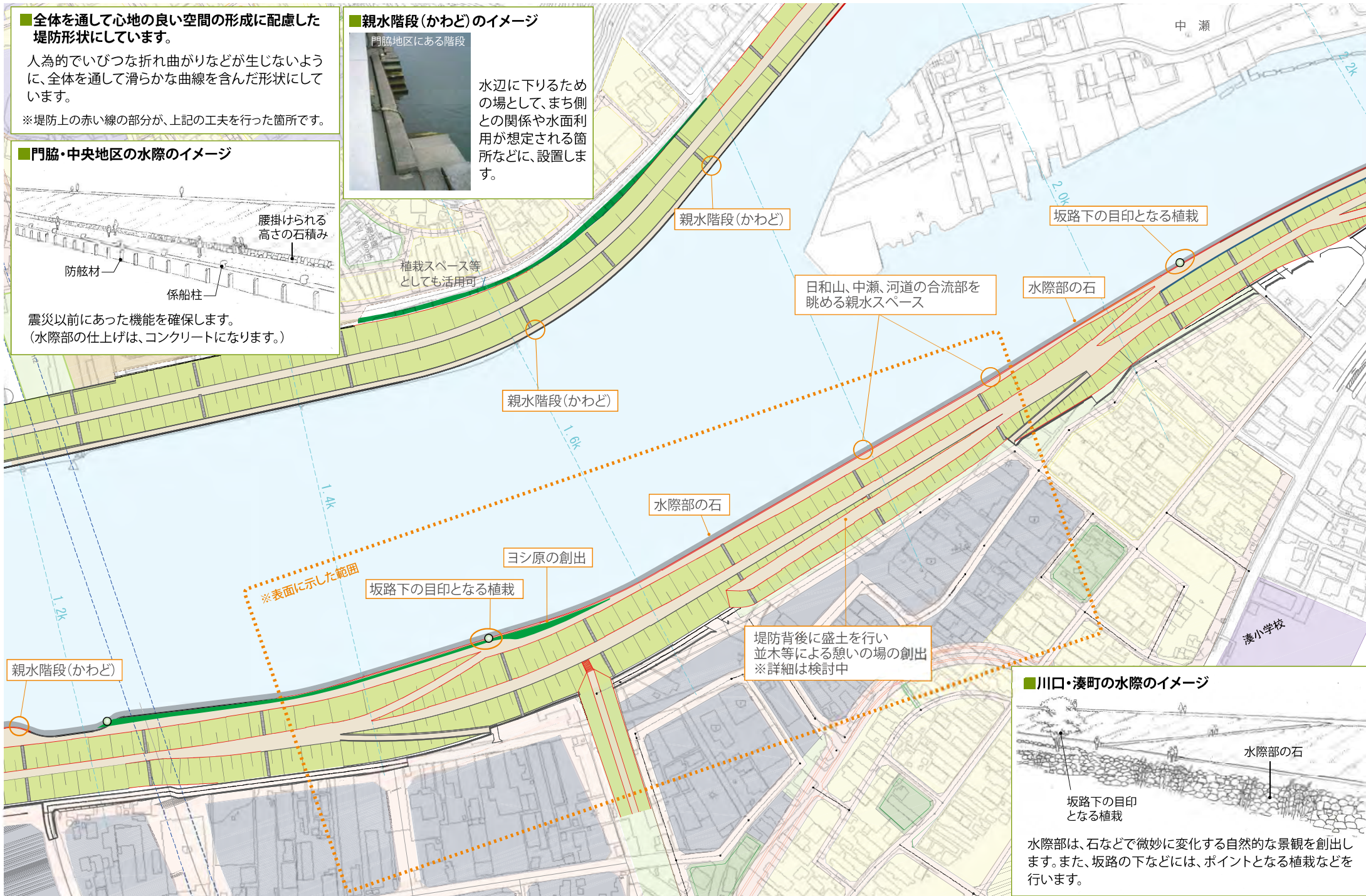
震災以前にあった機能を確保します。  
(水際部の仕上げは、コンクリートになります。)

## ■親水階段(かわど)のイメージ

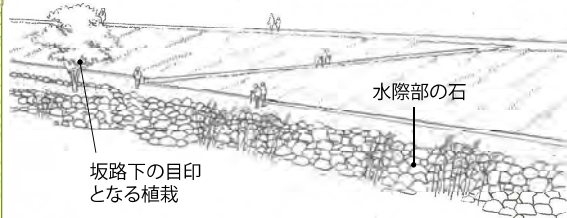


水辺に下りるための場として、まち側との関係や水面利用が想定される箇所などに、設置します。

植栽スペース等としても活用可



## ■川口・湊町の水際のイメージ



水際は、石などで微妙に変化する自然的な景観を創出します。また、坂路の下などには、ポイントとなる植栽などを行います。

※具体の整備にあたっては、関係機関等との調整が必要な箇所があります。



# 藤巻・井内地区のデザイン検討案

## ●● 整備のイメージ ●●

## ●● ワークショップやパブリックコメント等でいただいた地域の方々の意見 ●●

### 利用方法などに対するご意見

- 石積み護岸の姿で、歴史性を感じさせる河川空間にして欲しい
- 昔ながらの川の利用と、自然の流れでつくられてきた護岸の姿なので、現在の護岸の形を尊重した整備をして欲しい
- 漕艇等のスタートの場

等

### 藤巻・井内地区に欲しいもの

- ベンチ等
- サイクリングロード
- 小型の船やカヌー等が接岸できる施設
- かわど
- 川へ降りる階段

等

## ●● 意見等を踏まえた整備の考え方 ●●

現在の河畔、石積み護岸の風景を保全するとともに、  
稲井石の産地として石の雰囲気を活かした整備を行う

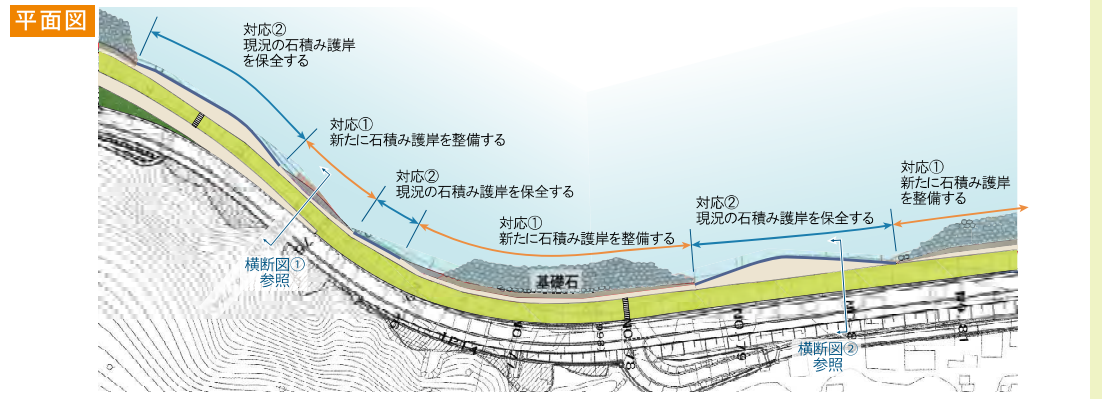
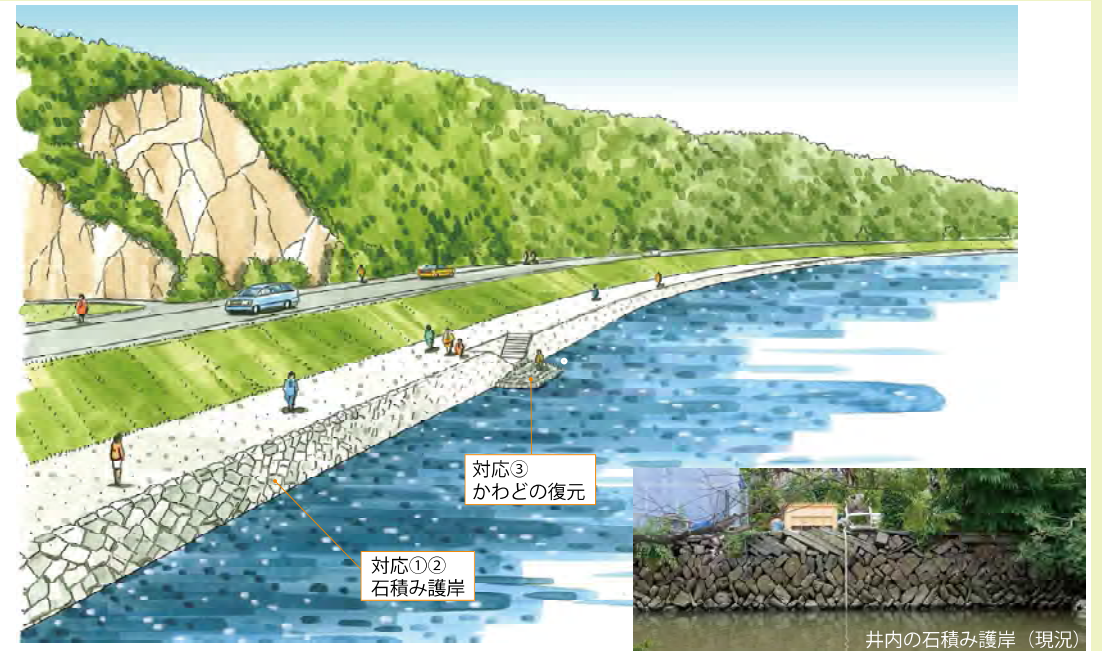
- 現在の石積み護岸を可能な限り活かしていきます。また、他の可能な箇所についても新たな石積み護岸による整備を図ります。
- 釣り等のスポットとしての利活用等も考慮します。

### 対応案（デザイン案）

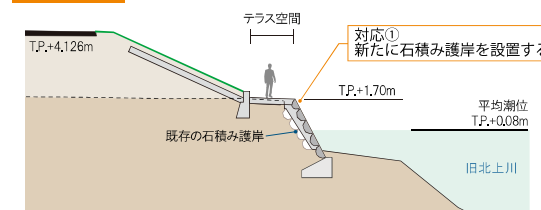
対応①：石積み護岸による整備を図ります。

対応②：構造上可能な箇所については、現在の石積み護岸を活かした整備を図ります。

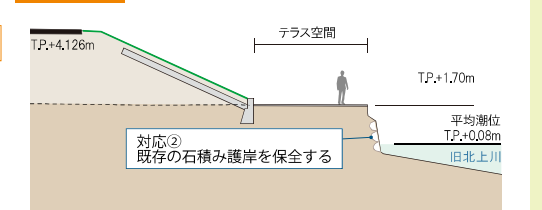
対応③：現存する“かわど”等を適宜復元し、釣り等が楽しめるようにするとともに、昔ながらの川の雰囲気を演出します。



### 横断面図①

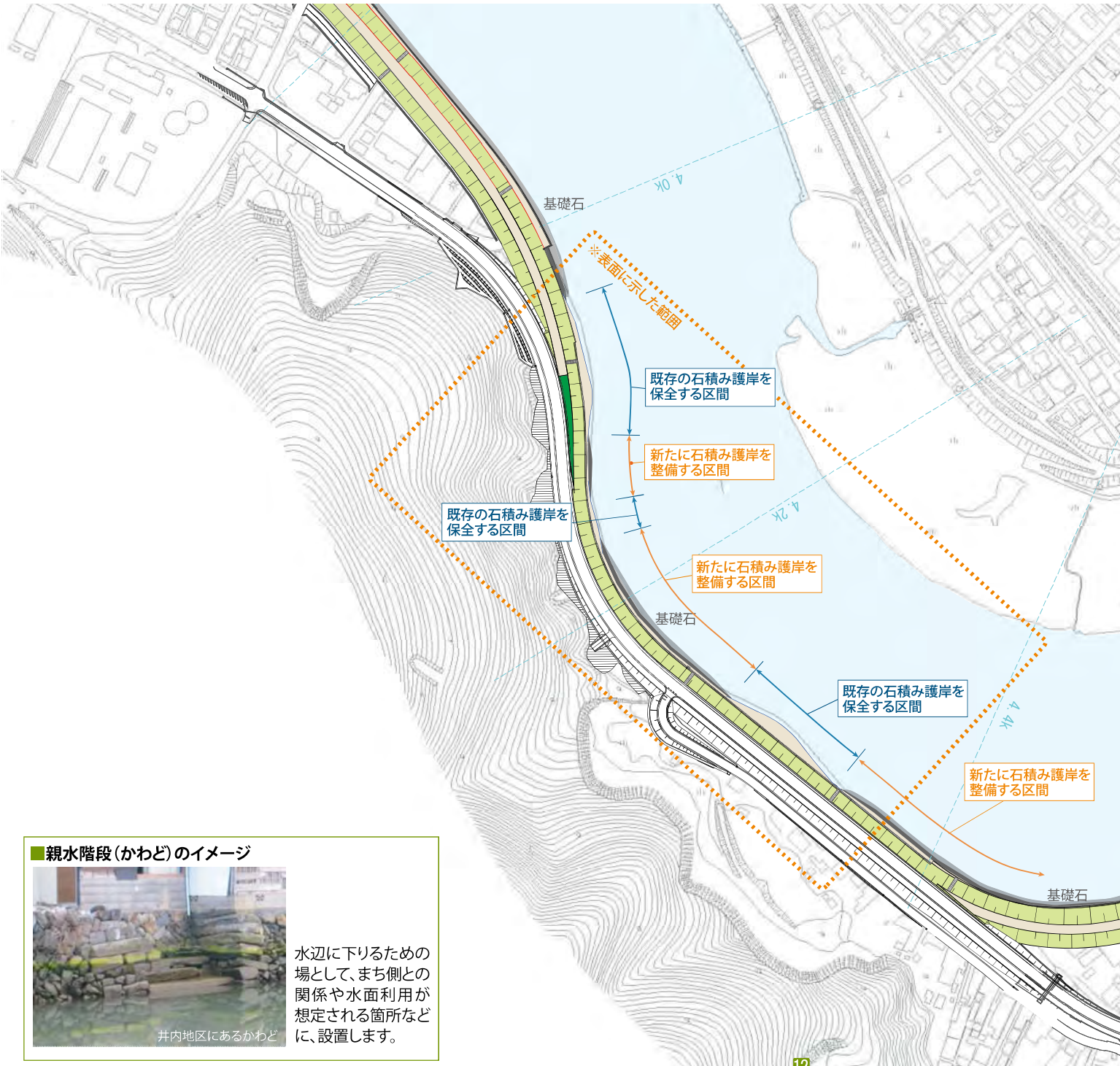


### 横断面図②





# 藤巻・井内周辺の整備イメージ



## ■ 親水階段(かわど)のイメージ



水辺に下りるための場として、まち側との関係や水面利用が想定される箇所などに、設置します。

井内地区にあるかわど

■ 全体を通して心地の良い空間の形成に配慮した堤防形状にしています。

人為的でいびつな折れ曲がりなどが生じないように、全体を通して滑らかな曲線を含んだ形状にしています。

※堤防上の赤い線の部分が、上記の工夫を行った箇所です。

※具体の整備にあたっては、関係機関等との調整が必要な箇所があります。